

FY2015 1Q Financial Results

2015年4月期1Q
決算説明会資料

株式会社フルスピード

Full Speed Inc.

Sep 12th 2014

Disclaimer

免 責 事 項



本資料は株式会社フルスピードの2015年4月期第1四半期の業績及び経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、また、今後、予告なく変更することがあります。

Topics

	01 エグゼクティブ・サマリー		Executive Summary	3
	02 ビジネスの概況		Business Overview	11
	03 FY2015 1Q 決算の状況		FY2015 1Q Financials	31
	04 アドテク市場の見通し		Ad Tech Market Forecast	34
	05 各事業のトピックス		Topics by Segment	41

Appendix

	フルスピード社 会社概要		About Full Speed Group	47
	中期経営計画サマリー		Mid-Term Strategy Summary	52



エグゼクティブ・サマリー

Executive Summary

フルスピードグループが目指している一つのこと。

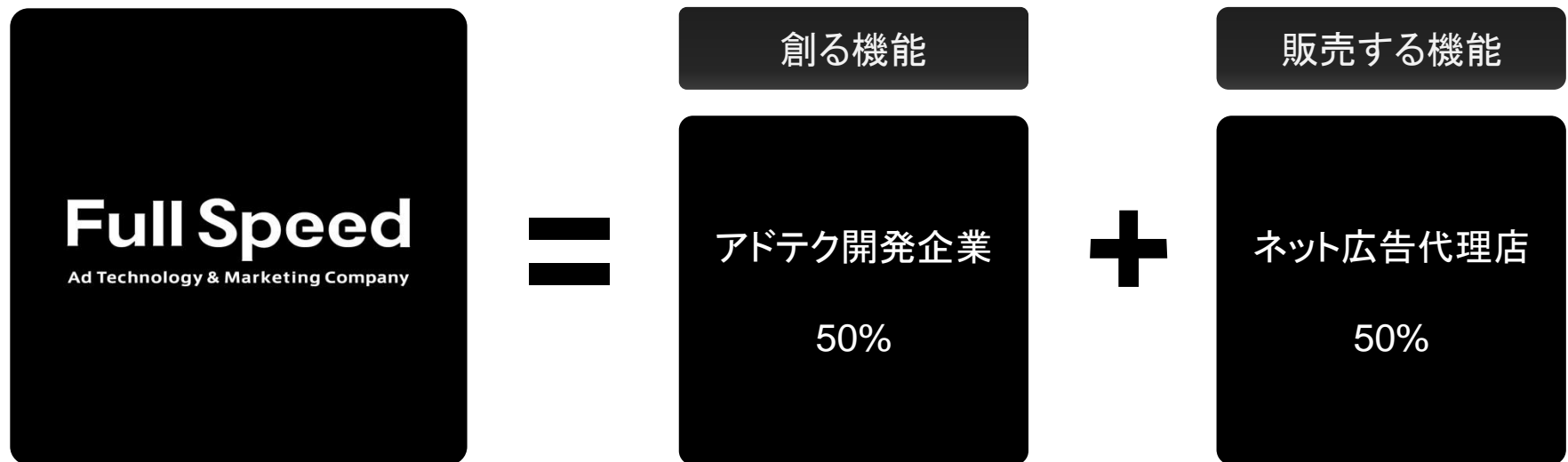
ネットライフを豊かにする広告を。

Ad Technology & Marketing Company

“より良い広告の仕組みを生み出すことは、ネットユーザーのネットライフをもっと滑らかで、今よりも豊かなものにする。”
との事業コンセプトに基づき、フルスピードグループは、“ヒトの心理”と“広告技術”を繋ぎます。



“**AdTechnology & Marketing Company**”として、“創る機能”と“販売する機能”の両軸で攻める国内唯一のハイブリット型ネット広告代理店を目指す。



2つの事業領域における競合企業

アドテク開発企業

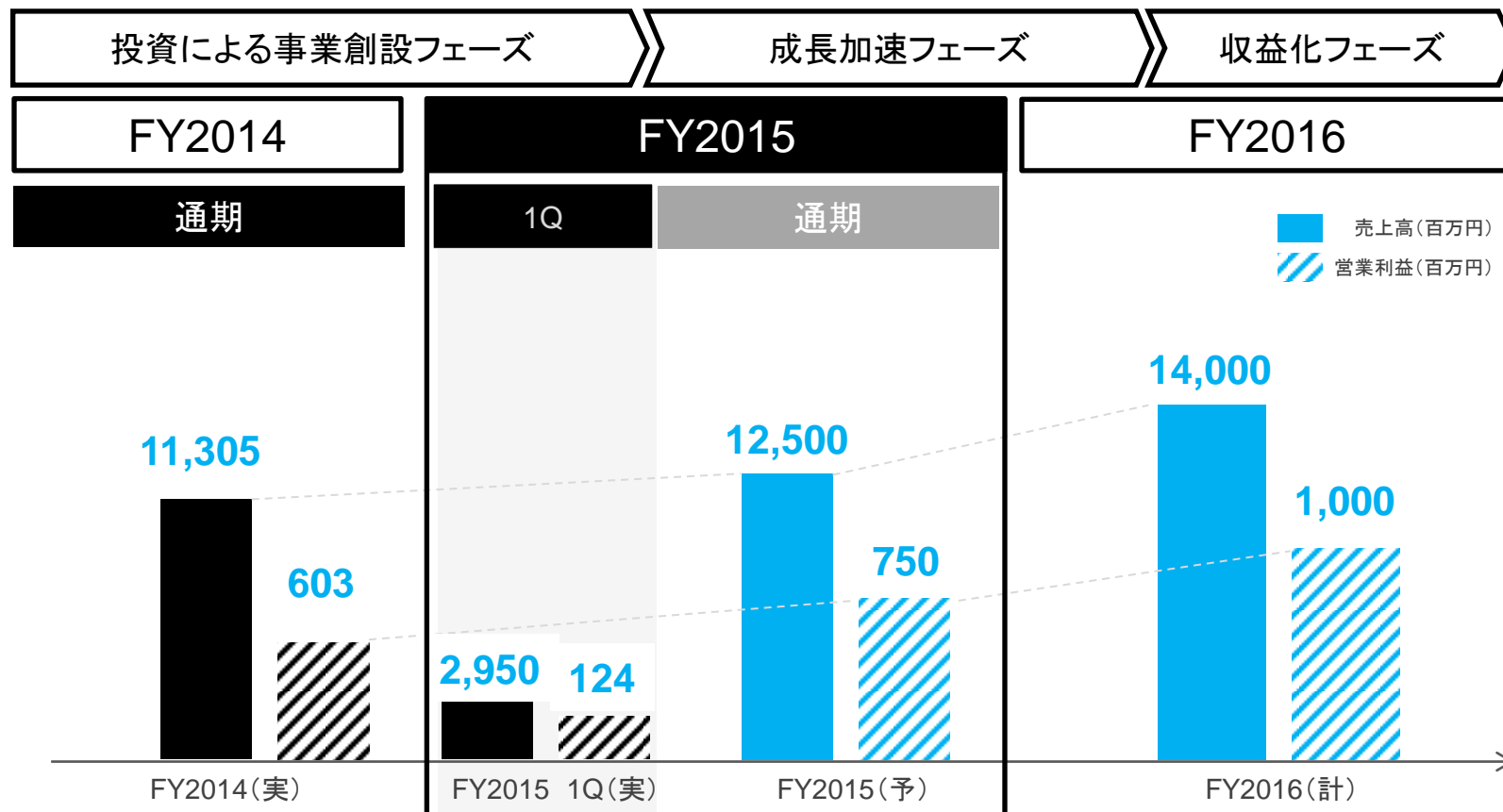


ネット広告代理店



ネット広告代理店の1社として、また自らが**国内No.1のアドテクの開発企業**となることで、自らが開発したソリューションサービスを世の中に提供できる企業に転換する。

投資フェーズと成長フェーズをまたぐ当期(FY2015)は下期偏重計画
1Qは売上高・利益ともに予想どおりに進捗

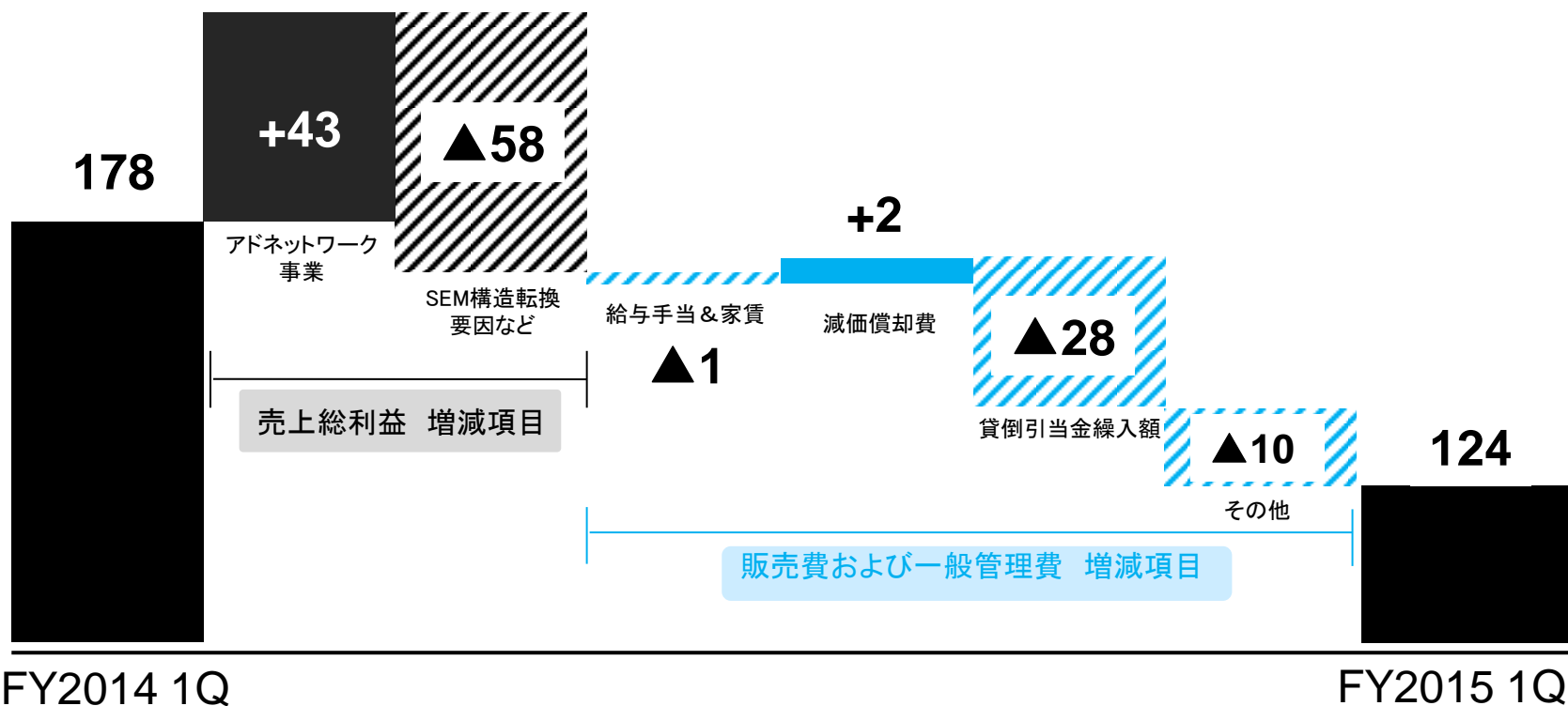


■ 成長領域のアドネット事業の拡大(事業構造転換)(▲15百万)

注力事業のアドネットワーク事業は引き続き拡大(+43百万円)。SEM広告は旧来の外部施策型SEOから、コンテンツマネジメント型への戦略転換期であったため減益となるも、足元では戦略転換効果が発現し月次ベースで反転

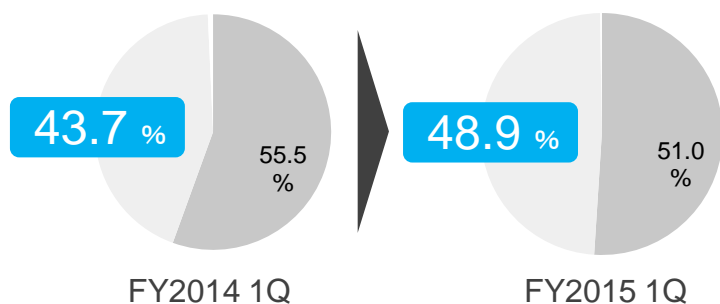
■ 人材関連への投資 & 前年生じた費用戻入の反動(+38百万円)

- ・アドテク人材の投資費用
- ・前年一時的に貸倒引当金の戻入が生じたことによる反動



注力領域であるアドネットワーク事業の売上構成割合が約50%まで拡大
更なる成長へ向けた資本政策を実施

利益率の高い事業構造への転換



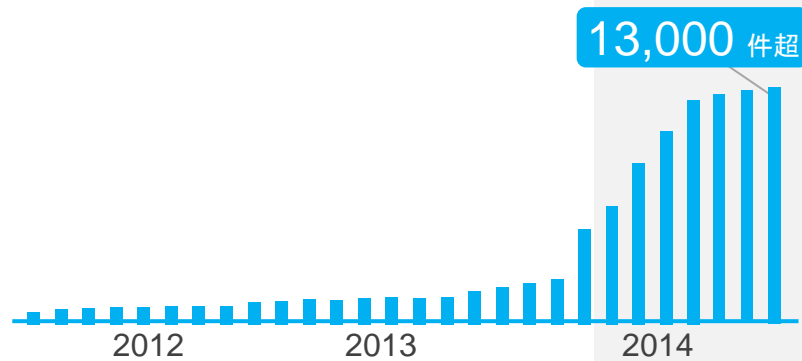
成長分野への投資を目的とした資金調達

● 資金調達の額(差引取引額)と用途



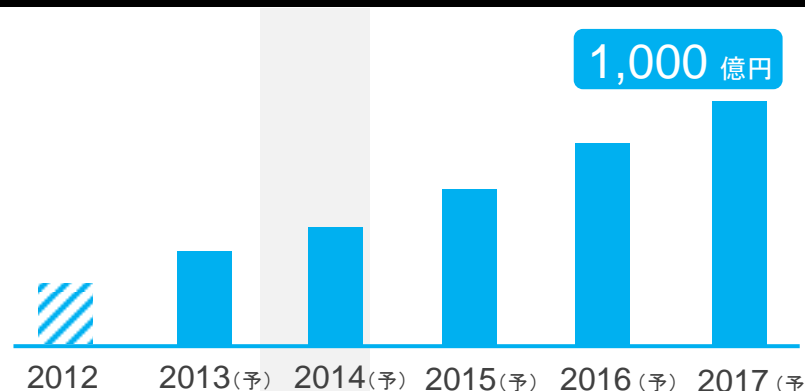
※上記は、当初行使価額で全ての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額です。
※詳細は、H26.8.18付「第三者割当による行使価額修正条項付第2回新株予約権の発行に
関するお知らせ」をご参照ください

主力商品AdMatrix®の拡販



※出所:

拡大するRTB広告市場



※出所: マイクロアド社、日本のRTB(Real Time Bidding)経由のディスプレイ広告市場規模予測



ビジネスの概況

Business Summary

1 独自プラットフォーム戦略の確立

2 「AdMatrix®」の本格プロモーション開始

3 成長分野への投資を目的とした資金調達

1 独自プラットフォーム戦略の確立

2 「AdMatrix®」の本格プロモーション開始

3 成長分野への投資を目的とした資金調達

独自プラットフォーム戦略の進捗①

開発開始から約3年間で「SEO」「リスティング」「DSP」「3PAS」「スマホCV」「ソーシャル」の6種類全てのシリーズを開発完了。

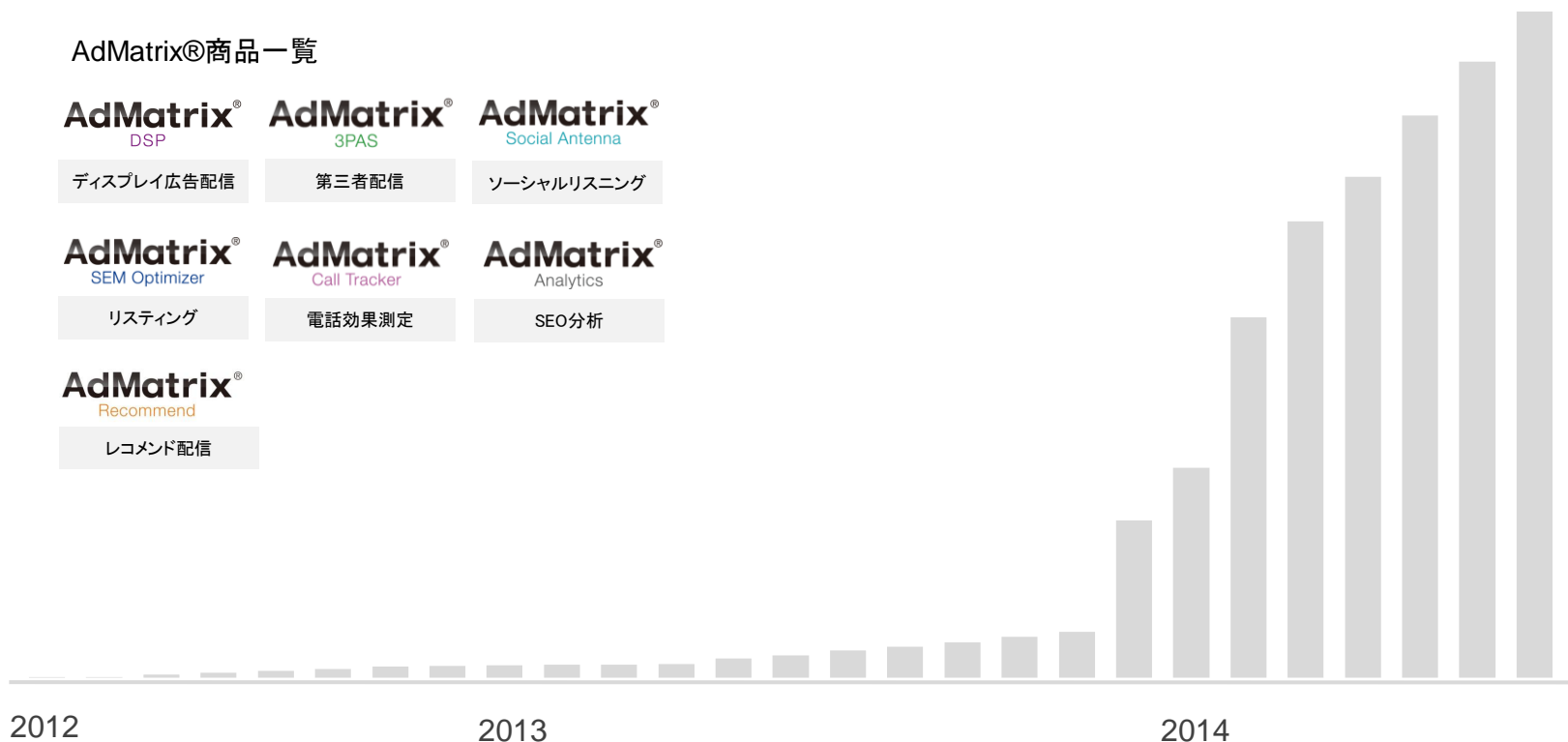
AdMatrixシリーズの完成



AdMatrix®利用状況の推移

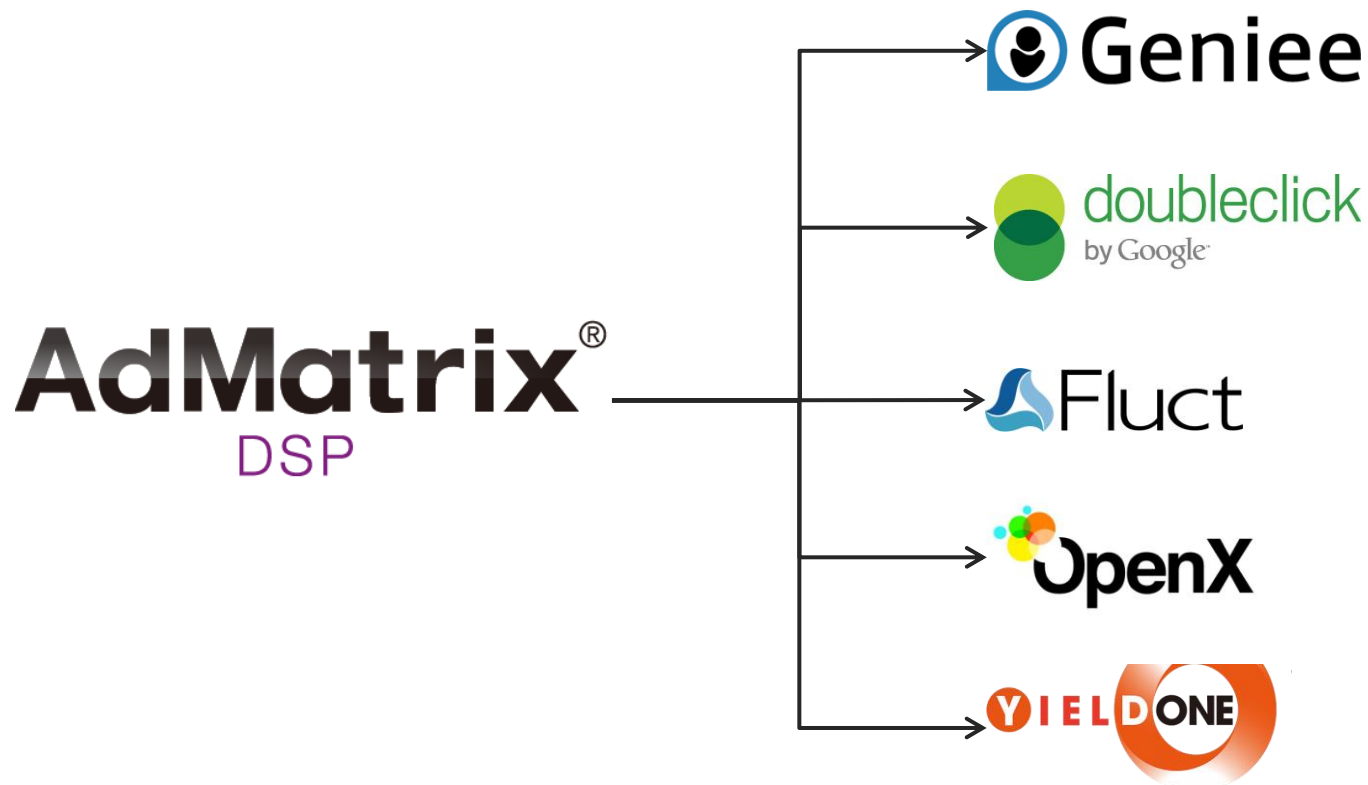
AdMatrix®商品一覧

AdMatrix® DSP ディスプレイ広告配信	AdMatrix® 3PAS 第三者配信	AdMatrix® Social Antenna ソーシャルリスニング
AdMatrix® SEM Optimizer リスティング	AdMatrix® Call Tracker 電話効果測定	AdMatrix® Analytics SEO分析
AdMatrix® Recommend レコメンド配信		



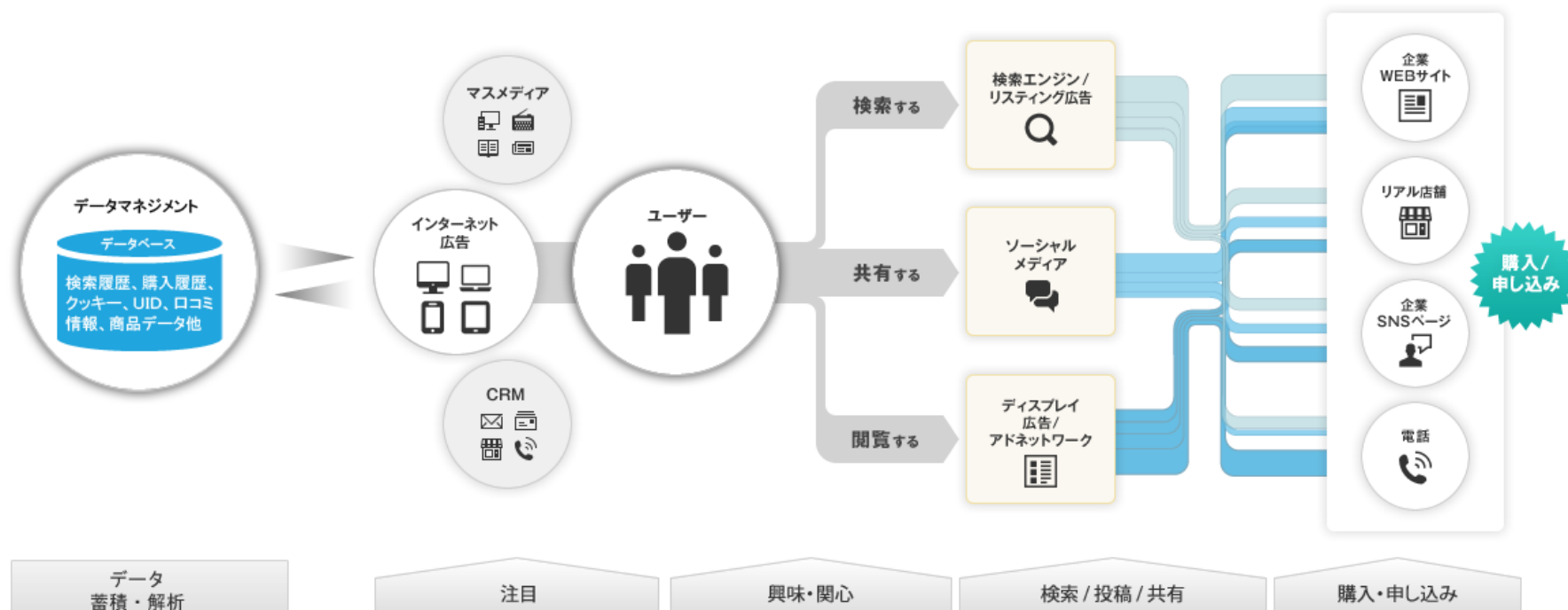
わずか2年程で、**AdMatrix®シリーズ累計13,000件**に達するなどブランドも浸透しつつあり、2Q以降拡販に向けた取り組みを一層強化する方針。

拡販に向けSSP接続先の拡大が進む

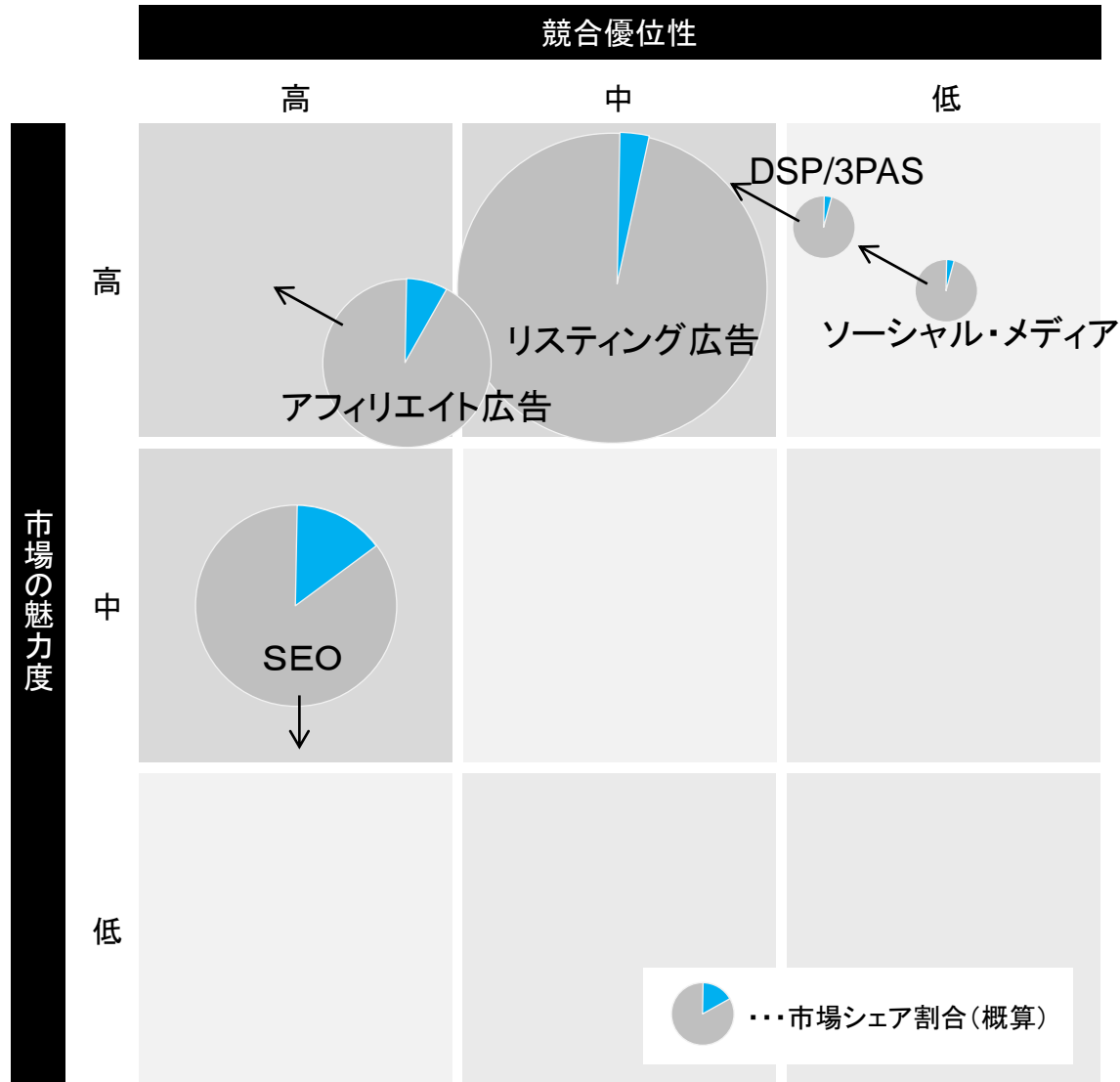


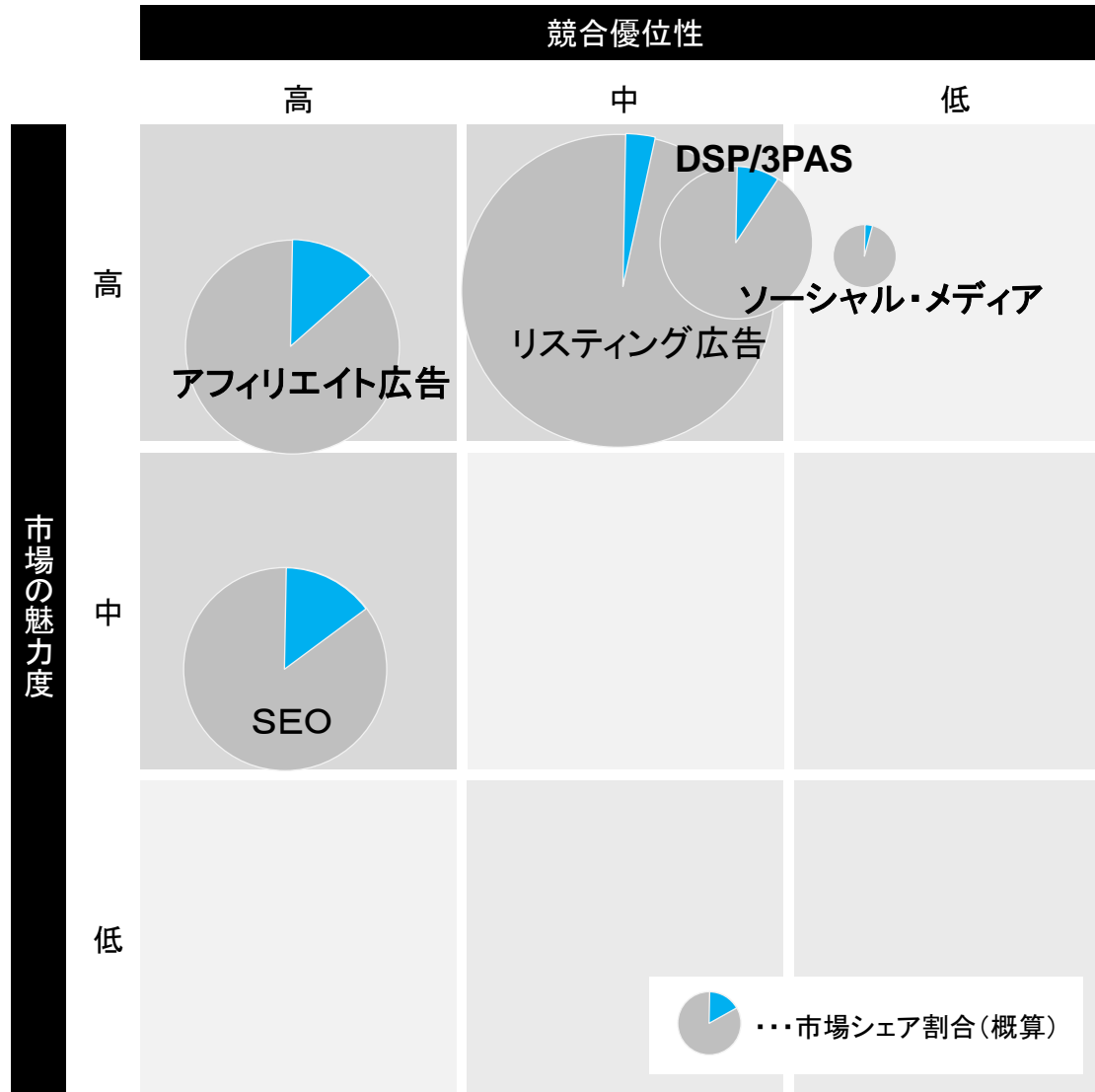
.....他SSP順次拡大

ユーザーを中心に据えたソリューション提供体制



「SEM(SEO/リスティング)」、「ソーシャル・メディア・マーケティング」、「ディスプレイ広告(DSP・アドネットワーク)」の3つのソリューション領域において、ビジネス展開を加速します。





ソリューション領域のさらなる拡大

フルスピードのソリューション領域

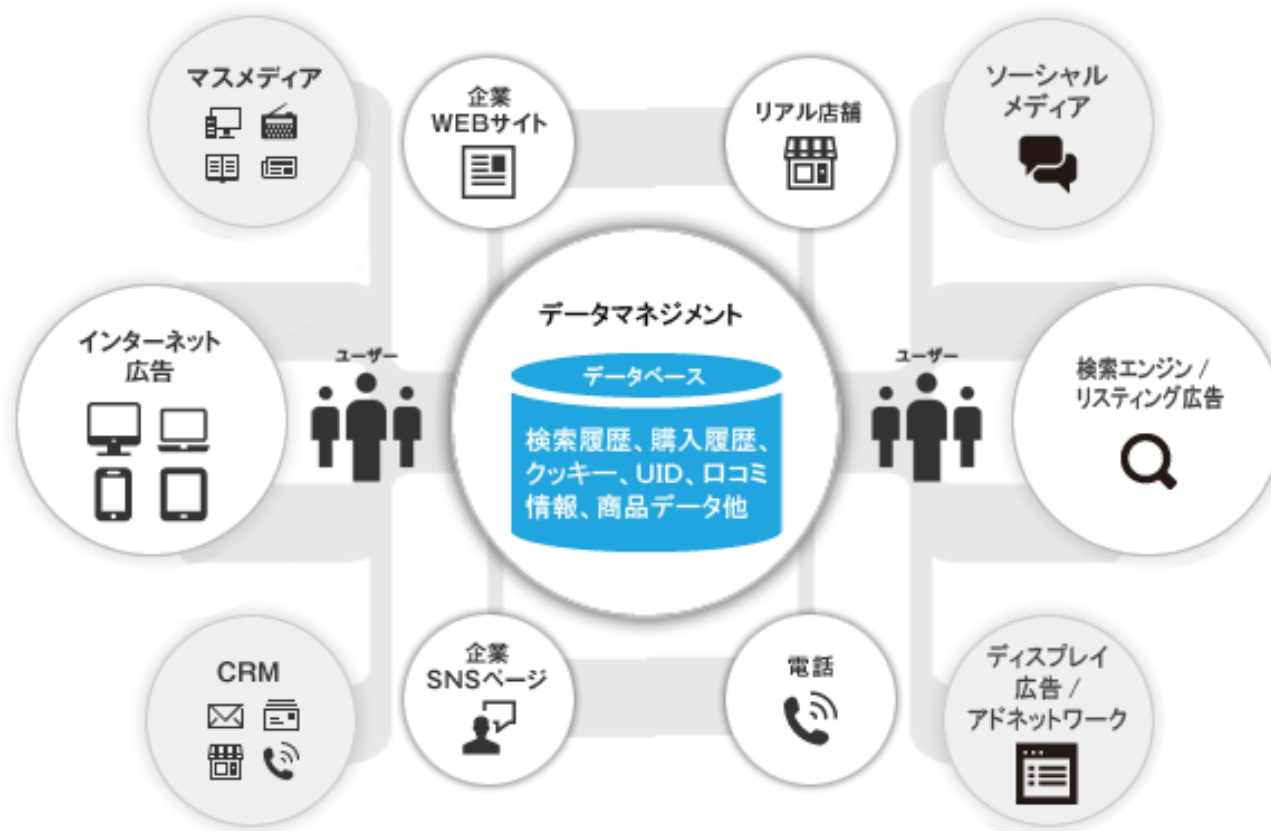
現在の事業ポートフォリオ領域					
	SEO	リスティング 広告	アフィリエイト	第三者配信 NEW	DSP NEW
当社の立ち 位置	1~3位 ※1 自社開発	7~8位 ※1 代理店モデル	4~6位 ※1 自社開発	1位 ※1 自社開発	4~7位 ※1 自社開発
売上貢献度	中	大	大	小	大
粗利率	高	低	高	高	高
市場成長の 見通し					

今期拡大予定の 事業領域	
ソーシャル・ メディア	コンテンツ・ マネジメント
自社開発	自社開発
小~中	小~中
高	高

+

※1...IR情報等に基づく自社調べ

AdMatrix®を用いたデータマネジメントビジネスへ



1

独自プラットフォーム戦略の確立

2

「AdMatrix®」の本格プロモーション開始

3

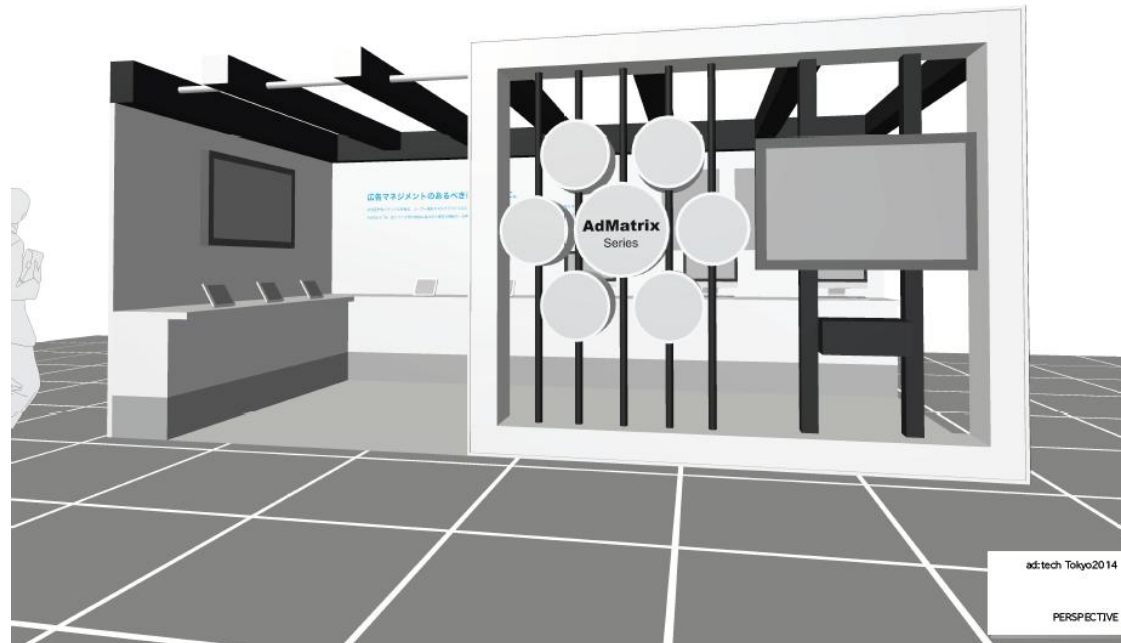
成長分野への投資を目的とした資金調達

「ad:tech Tokyo 2014」へ出展



全世界12都市で開催し、日本上陸は今年で6年目の**世界最大級のデジタルマーケティングイベント**。同イベントは全世界のマーケターの注目を集め、今年もFacebook社、クリテオ社、フリークアウト社など国内外の主要アドテクノロジー企業が出展をいたします。

「ad:tech Tokyo 2014」弊社ブースイメージ



当社が開発したDSP・第三者配信システム・ソーシャル・SEO・リスティング等、インターネット広告統合管理ツール「**Admatrix®(アドマトリックス)**」マーケティングソリューションを提案

1

独自プラットフォーム戦略の確立

2

「AdMatrix®」の本格プロモーション開始

3

成長分野への投資を目的とした資金調達

2014年8月18日

第三者割当による新株予約権の発行決議

アドテク領域、海外展開などの成長分野に充当し、事業規模拡大を加速させる

資金調達の額(差引取引額)

21.18億円

新株予約権の発行個数

24,000個

最大希薄化は15.72%

※上記は、当初行使価額で全ての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額です。

(ご参考) アドテク領域における競合プレイヤー

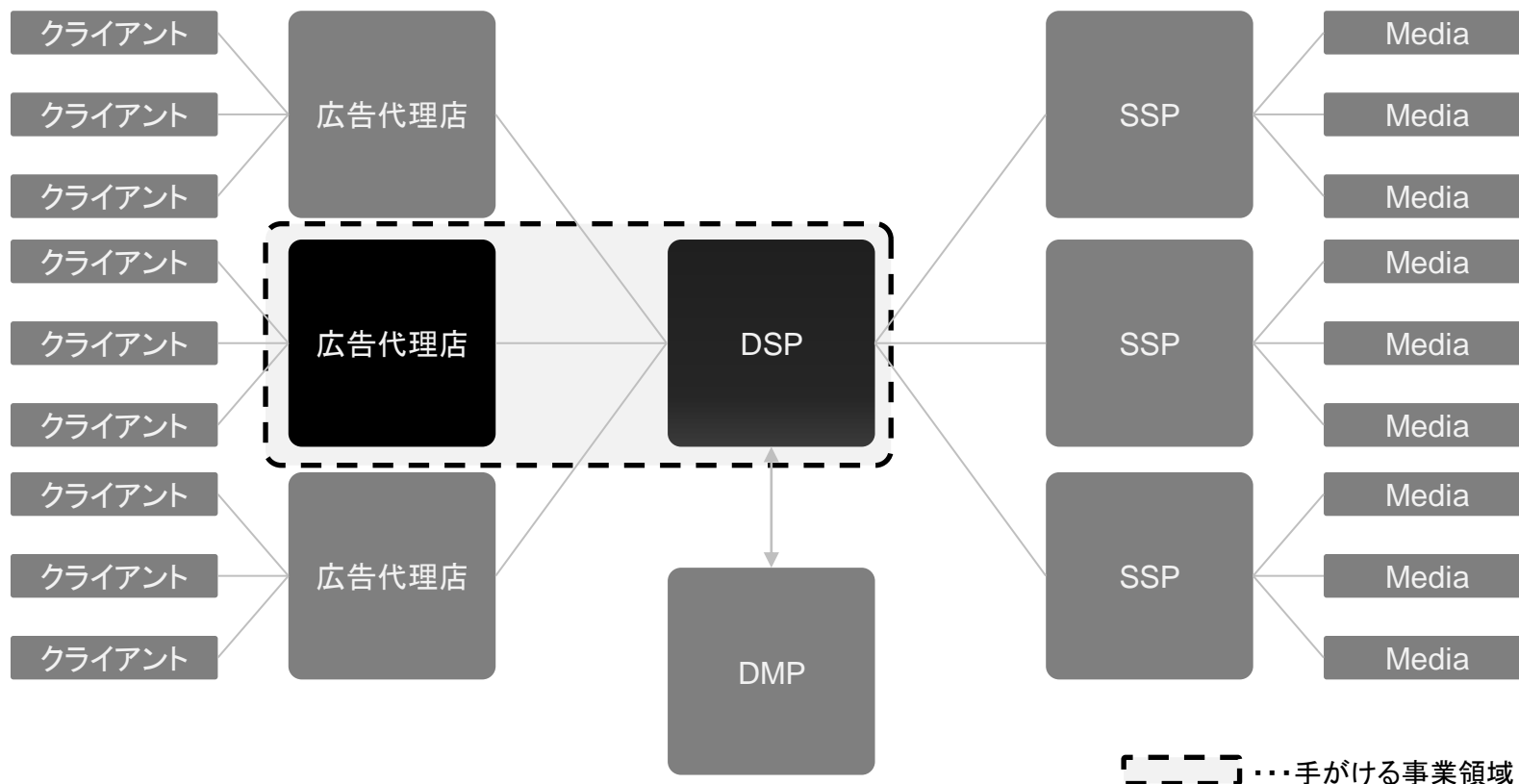
国内外の競合となるアドテク各社は、資金調達を実施し、潤沢な資金をもとにグローバルに展開しつつ、多額の投資を実施し、規模拡大を狙っている状況。

	海外アドテク開発会社		国内アドテク開発会社		
	Rocket Fuel (FUEL)	Criteo (CRTO)	フルスピード (2159)	VOYAGE (3688) <small>NEW</small>	フリークアウト (6094) <small>NEW</small>
※1ドル=100円で算出					
創業年度	2008年3月	2005年11月	2001年1月	1999年10月8日	2010年10月
上場時期/市場	2013年9月 NASDAQ上場	2013年10月 NASDAQ上場	2007年8月 東証マザーズ	2014年7月2日 東証マザーズ	2014年6月24日 東証マザーズ
調達額 ※当社以外はIPO時の調達額	約116億円	約250億円	約21.18億円	約11.04億円	約9.75億円
本拠地	米国	フランス	日本	日本	日本
売上高(億円)	240.6億円	590.5億円	113.0億円	98.5億円	21.6億円
営業利益(億円) / 営業利益率(%)	▲14.6億円 (▲6.1%)	14.1億円 (2.4%)	6.0億円 (5.3%)	5.3億円 (5.4%)	2.5億円 (11.5%)
時価総額(億円)	約548億円	約1,730億円	約134億円	約356億円	約409億円

時価総額: 2014年8月15日 (FUEL及びCRTO)、2014年8月15日 (フルスピード、VOYAGE及びフリークアウト) 時点の株価(終値)データ / FUEL及びCRTOのIPO調達額は、NASDAQ WEBサイト(<http://www.nasdaq.com/markets/ipos/>)を参照。VOYAGE及びフリークアウトはIPO時の公募による調達額。各社の決算情報は、直前決算期の情報を記載。

アドテク開発企業 & ネット広告代理店として、第一フェーズにおいては、人員増強、システム投資により、「創る機能」×「販売する機能」をさらに強化。

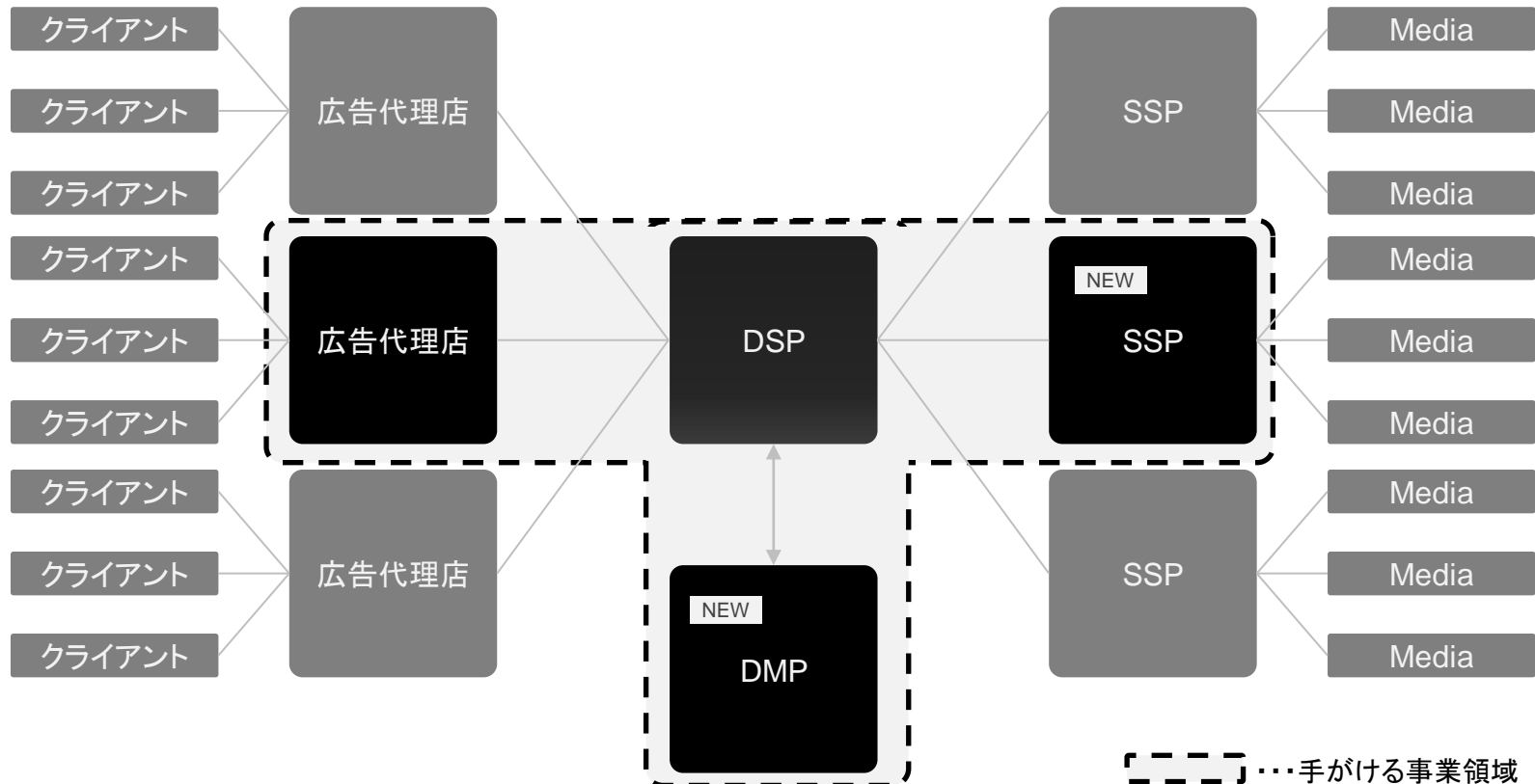
フルスピードの事業領域（現在）



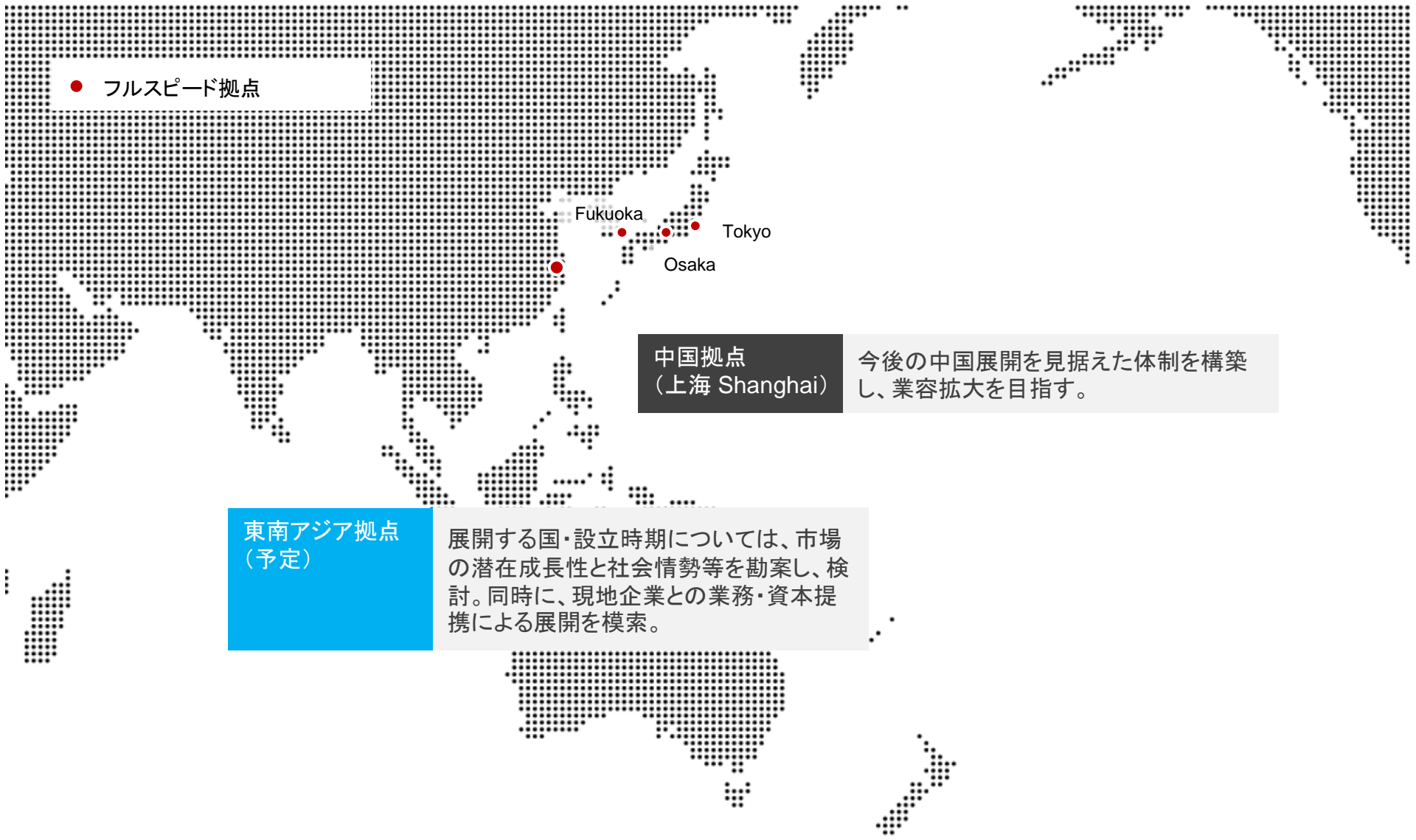
潤沢な資金をもとにした事業拡大戦略

既存のアドネットワークとの連携を今後強化するとともに、企業あるいは将来のアライアンス先が保有する**大規模データを活用したDMP領域にも事業投資を拡大**することにより、配信可能な面の拡張と、広告配信の精度向上を目論む。

フルスピードの事業領域(将来)



海外展開の状況(現状・今後)





FY2015 1Q決算の状況

FY2015 1Q Financials

連結P/Lサマリー

アドネットワーク事業の好調により、売上高は増収。営業減益も四半期純利益は、**前期の特損が剥落し増益で着地。**

連結P/Lサマリー

	2014年4月期		対前期 増減額
	1Q	1Q	
	2013/5/1~ 2013/7/31	2014/5/1~ 2014/7/31	
(単位: 百万円)			
売上高	2,897	2,950	+53
売上原価	2,348	2,417	+69
	<i>原価率</i>	<i>81.0%</i>	<i>81.9%</i>
売上総利益	548	532	-16
販売費及び一般管理費	369	408	+39
	<i>販管費比率</i>	<i>12.7%</i>	<i>13.8%</i>
営業利益	178	124	-54
	<i>営業利益率</i>	<i>6.1%</i>	<i>4.2%</i>
営業外収益	0	0	+0
営業外費用	8	16	+8
経常利益	170	109	-61
	<i>経常利益率</i>	<i>5.9%</i>	<i>3.7%</i>
特別利益	-	-	-
特別損失	94	-	-94
四半期純利益	48	75	+27
	<i>当期純利益率</i>	<i>1.7%</i>	<i>2.5%</i>

■セールスマックスが影響

市場拡大とともにアドネットワーク事業が引き続き拡大し増収もSEM広告の戦略転換の影響により減益

■営業減益も、計画どおりの着地

貸倒引当金繰入額 +28百万円増加による影響など
(FY2014 1Q ▲26百万円 FY2015 1Q 1百万円)

■前期発生した特損が剥落し、最終利益は増益

利益創出体質となったことで、引き続き財務の健全化が進む
 (自己資本比率 前々期12.5%⇒前期22.8%⇒今期1Q 24.9%)

連結B/Sサマリー

資産の部

	2013/4 (期末)	2014/4 (期末)①	2015/4 (1Q末)②	②-①
現金及び預金	1,020	1,259	1,196	△ 63
売掛金	1,385	1,415	1,474	58
その他	332	196	201	4
流動資産	2,737	2,872	2,877	5
有形固定資産	96	92	92	0
無形固定資産	138	199	222	23
投資その他の資産	175	115	112	△ 2
固定資産	410	406	427	20
総資産	3,147	3,279	3,305	25

負債・純資産の部

(単位:百万円)

	2013/4 (期末)	2014/4 (期末)①	2015/4 (1Q末)②	②-①
買掛金	942	1,046	1,019	△ 26
短期借入金	100	782	882	100
1年内返済予定 の長期借入金	387	347	268	△ 79
その他	320	283	258	△ 25
流動負債	1,750	2,459	2,427	△ 31
長期借入金	419	72	55	△ 17
その他	582	0	0	0
固定負債	1,001	72	55	△ 17
負債	2,752	2,532	2,468	△ 63
資本金	799	799	799	0
資本剰余金	770	770	770	0
利益剰余金	△ 1,174	△ 829	△ 754	75
株主資本	394	740	815	75
純資産	394	747	822	75
負債純資産	3,147	3,279	3,305	26

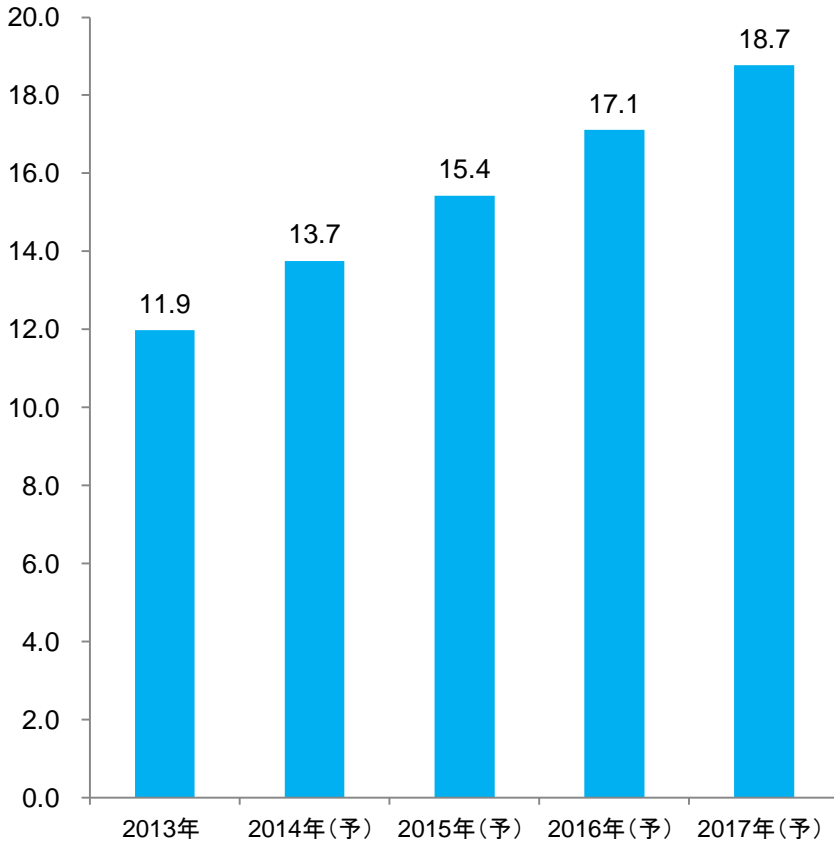


アドテク市場の見通し

Ad Tech Market Forecast

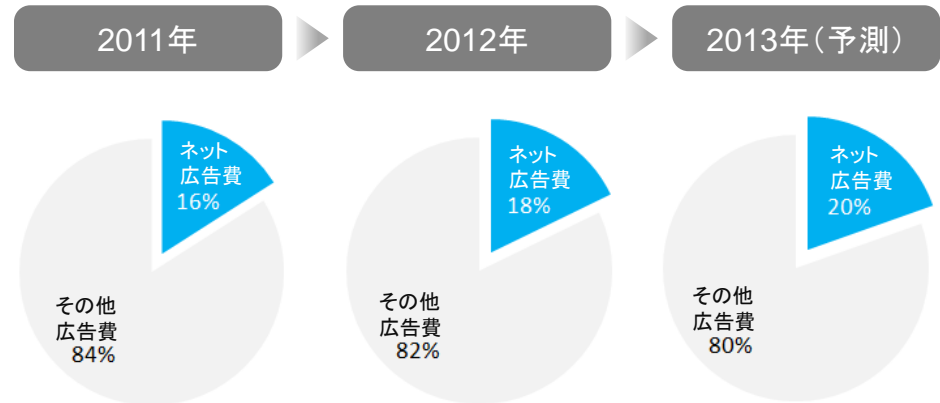
世界のインターネット広告市場①

世界のインターネット広告市場(兆円)



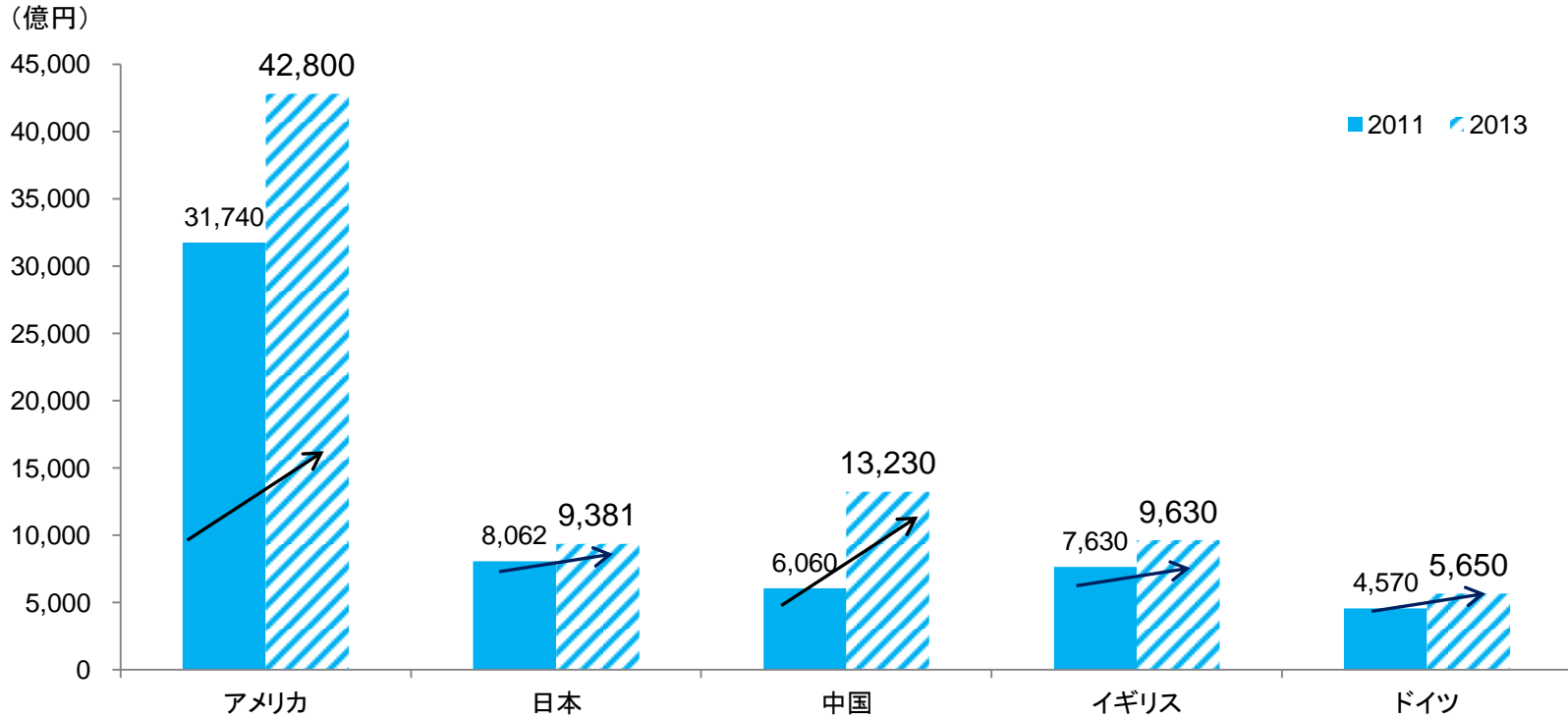
出典:「e-Marketer」

増え続けるインターネット広告の割合(%)



出典:「Zenith Optimedia」

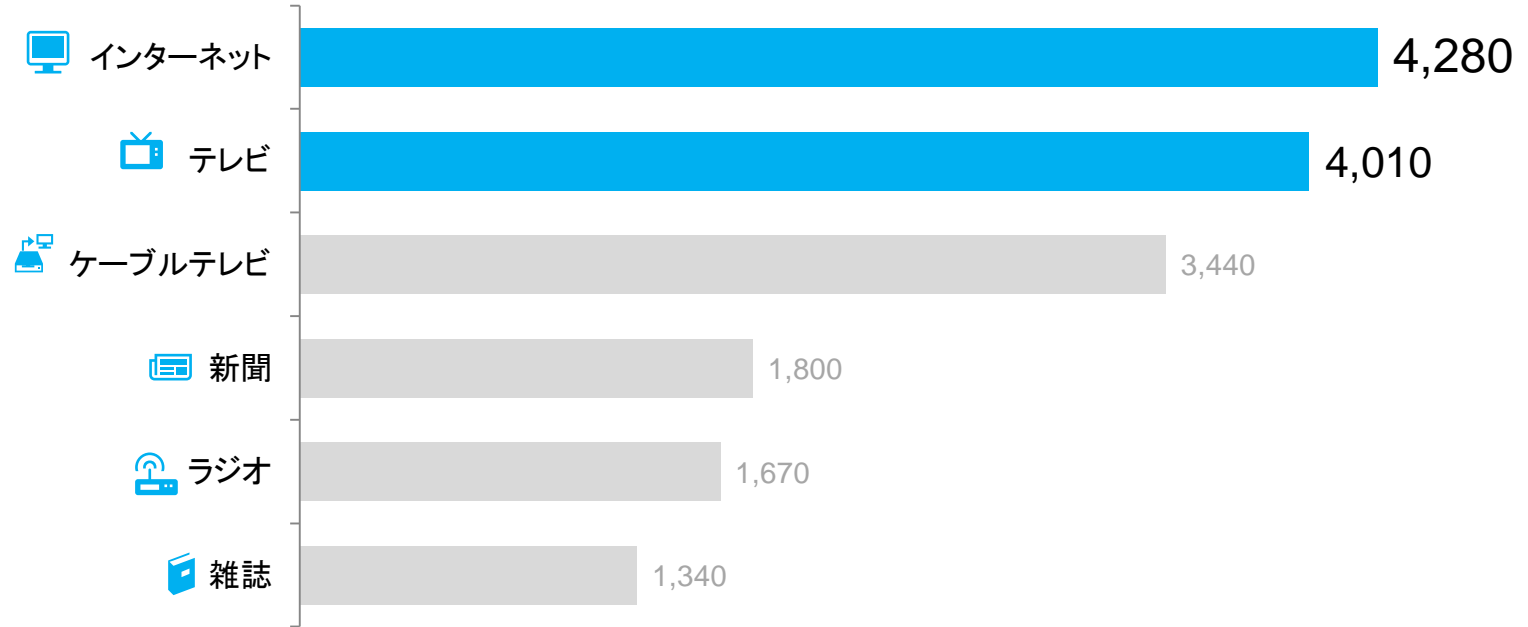
世界各国のインターネット広告市場



出典:「eMarketer」、「IAB」、「日本の広告費」
外貨は、現在の為替レートを元に(1ドル=100円)として計算

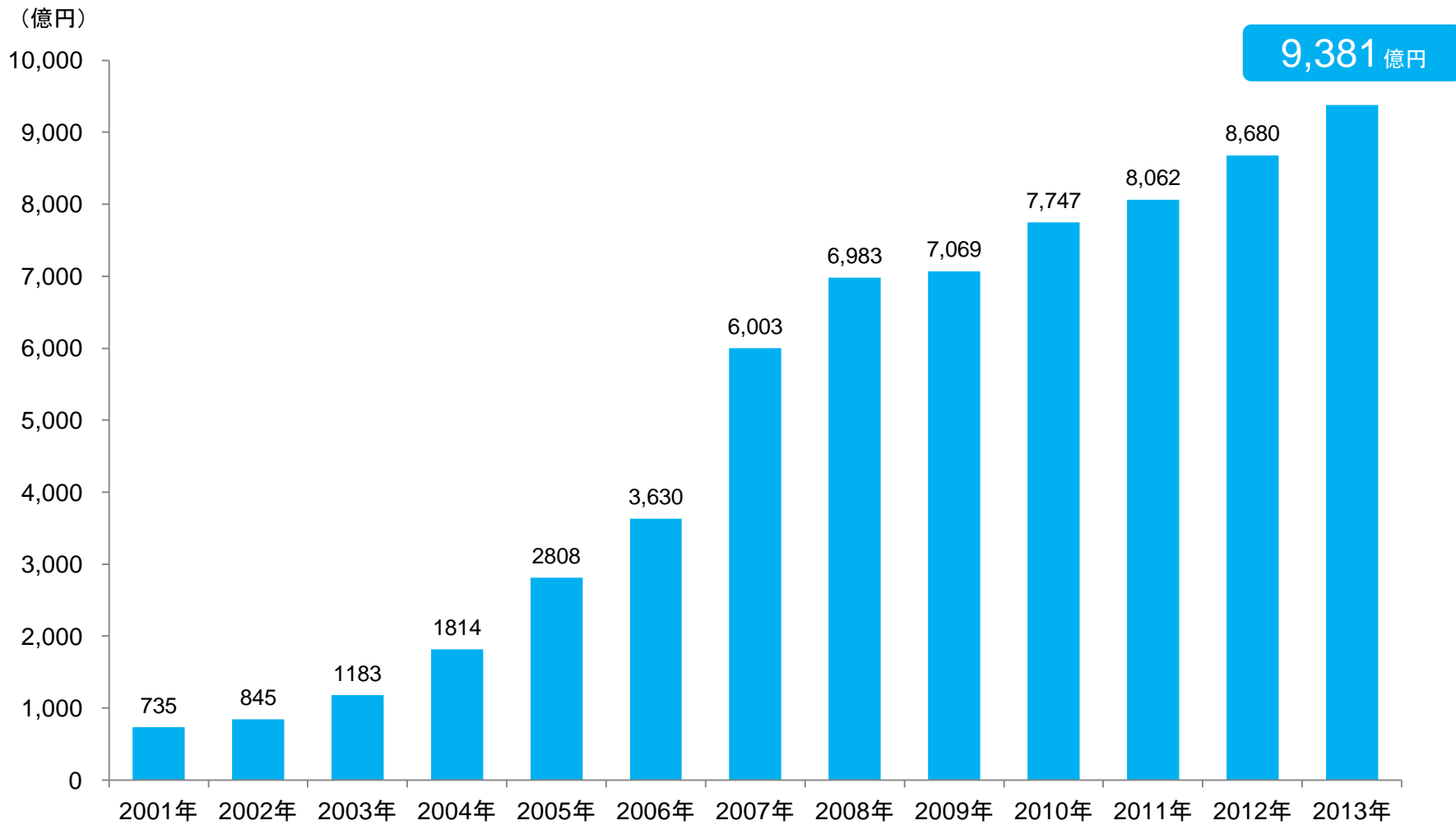
米国における媒体別市場規模

(億円)



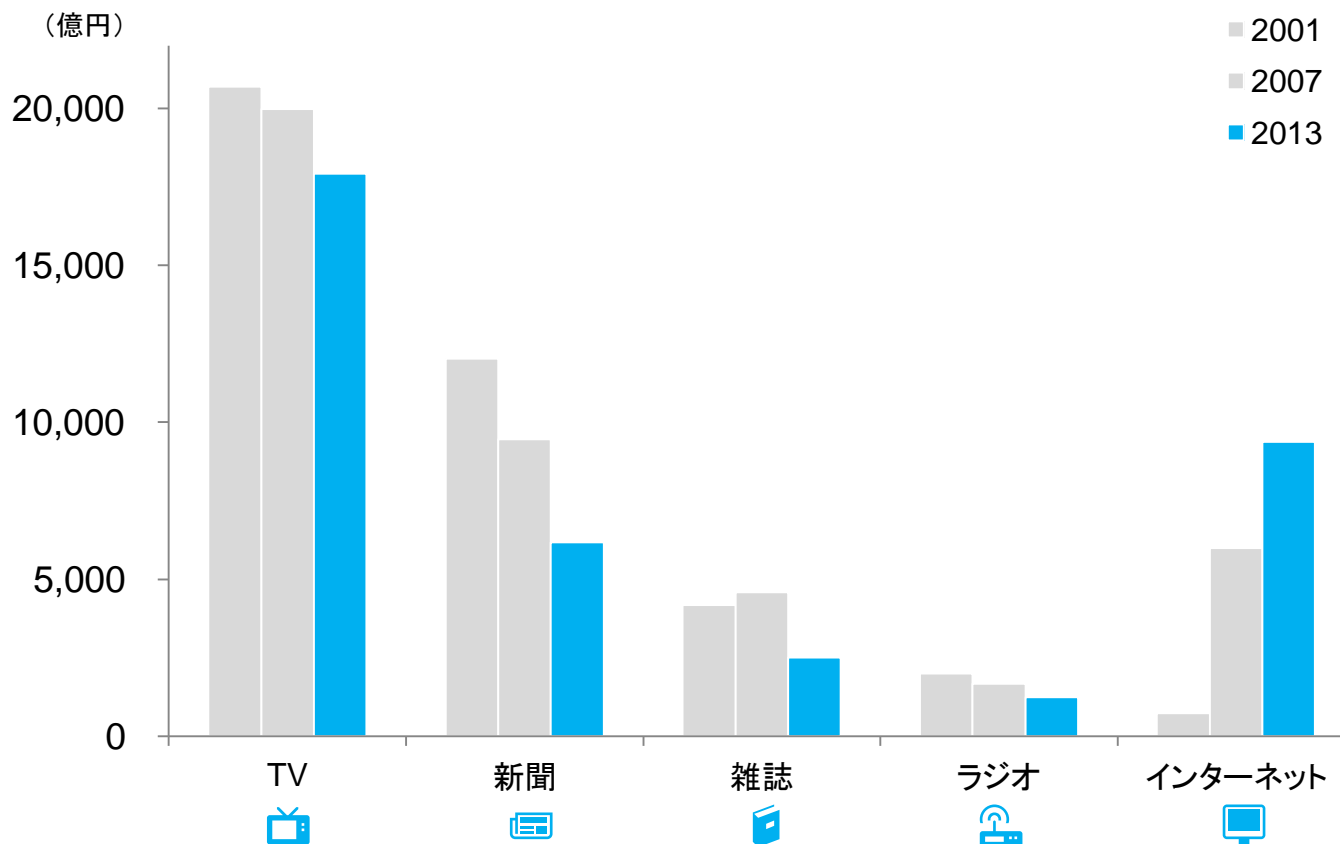
出典:「the IAB's annual Internet Advertising Revenue Report conducted by PwC」

インターネット広告の市場規模(億円)



出典:「日本の広告費(電通)」

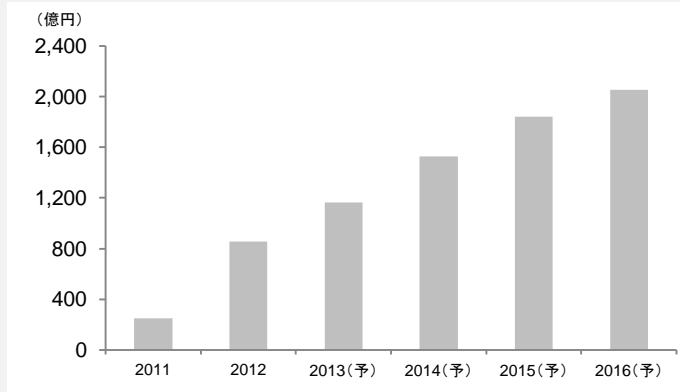
媒体別の広告市場規模(億円)



出典:「日本の広告費(電通)」

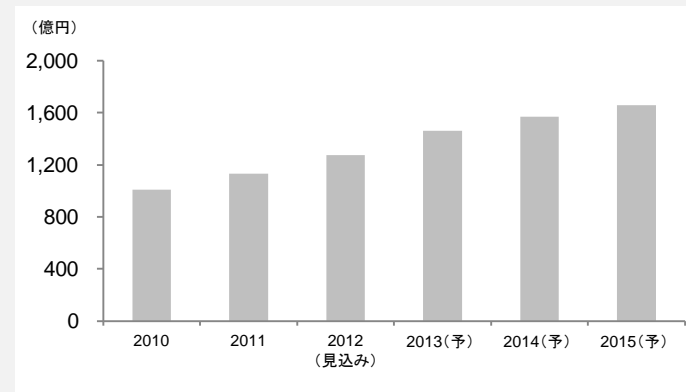
個別の広告市場の動向予測

スマートフォン広告市場



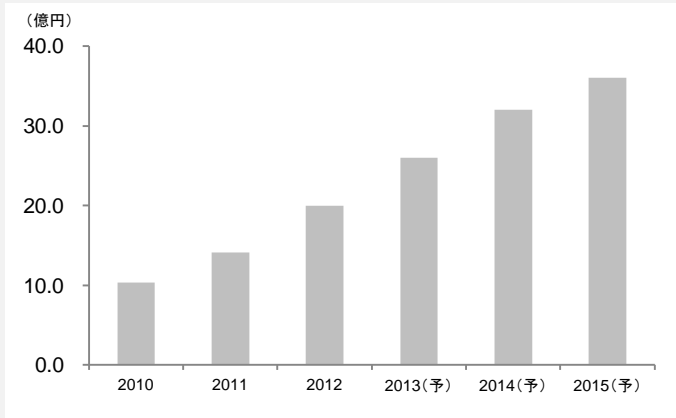
出典:「シード・プランニング」

アフィリエイト広告市場



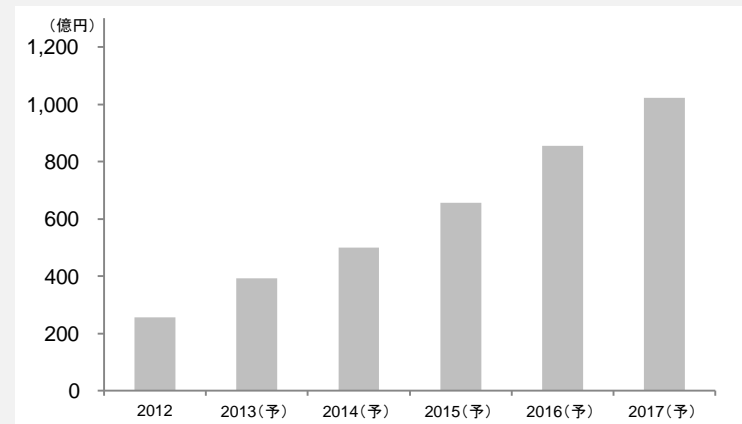
出典:「矢野経済研究所」

ソーシャルメディア解析市場



出典「ITR」

DSP広告市場



出典:「マイクロアド」



各事業のトピックス

Topics by Segment

■ 独自機能を拡充し競争力を強化

AdMatrix® DSP



主な基本機能

オフィスターゲティング

Weather配信

地域ターゲティング

リマインドターゲティング配信

ブロード配信

キーワード配信

スマホ配信

当社独自の機能として、IPアドレスより企業を割り出し、企業特性や地域などを掛け合わせたオフィスターゲティングや、天気により最適な広告配信するWeather配信など続々機能を強化

■ 離脱ユーザーに対し関連商品をレコメンド

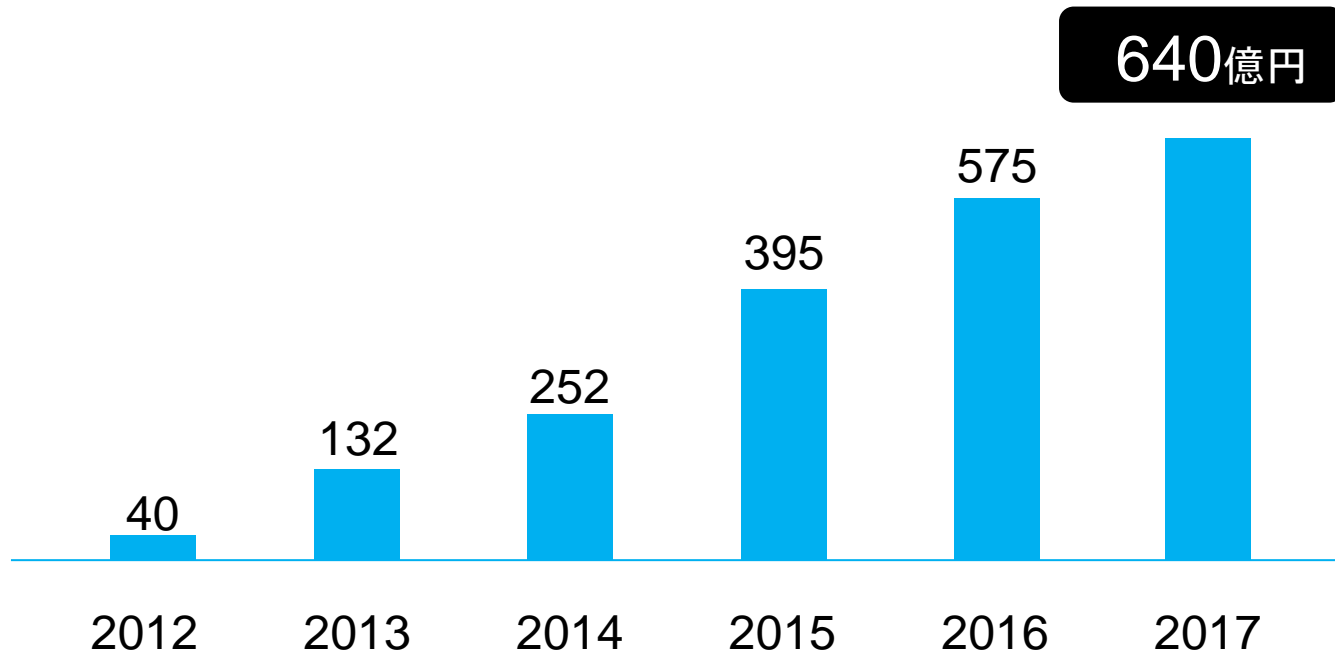


「AdMatrix® Recommend」は、ユーザー個々の行動履歴を分析し、ユーザー別にパーソナライズしたクリエイティブを自動生成・配信することで、きめ細やかなキャンペーンを実現します。

伸びるオンライン動画広告市場

国内の動画広告市場は、2013年時点で132億円、2017年には640億円と市場規模の急拡大が見込まれる。

日本の動画広告市場



出典: 2014年3月シードプランニング調べ

Freebitとの共同した動画広告の新サービスを開発中



 freebit

Full Speed Inc.

親会社フリービットとの協働による「スマホキャリア」×「アドテク会社」の強みを活かした新しい広告の仕組み創りを進める。

“ ヒトの心理 ” と

“ 広告技術 ” を繋ぐ。

Full Speed Inc.



フルスピード社 会社概要

About Full Speed Group

- 会社名 株式会社フルスピード | Full Speed Inc.
- 事業内容 アドテクノロジーの開発及びインターネットマーケティング事業
- 設立 2001年1月4日
- 資本金 7.9億円
- 上場月 2007年8月（東証マザーズ上場）
- 年商 113億円（※2014年4月期 連結売上実績ベース）

会社業績

売上高

FY2014(実) 113億円

FY2015(予) 125億円

営業利益

FY2014(実) 6.0億円

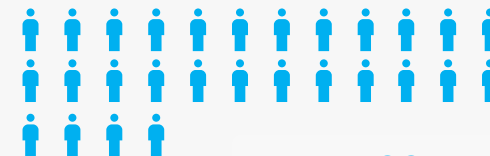
FY2015(予) 7.5億円

※会社業績及び予想は平成26年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

拠点一覧



従業員情報



社員数 227人^{※1}

男性 168人 女性 59人

平均年齢 30.3歳^{※2}

平均給与 474.3万円^{※2}

※1 データ: FY2014実績(フルスピード連結)

※2 データ: FY2014実績(フルスピード単体)

2001年1月	Webサイトの企画・制作・運営を目的として、京都府城陽市に有限会社エクシスを設立
2002年6月	成功報酬型SEOサービスの販売を開始
2004年10月	Google, Inc.と販売代理店契約締結
2006年2月	ヤフー株式会社(旧:オーバーチュア株式会社)と代理店契約締結
2007年8月	東京証券取引所マザーズ市場に株式上場
2008年7月	インターネットマーケティング事業の強化を目的として、株式会社ファンサイドを子会社化
2010年1月	顧客企業に対する総合的な支援を目的とし、企業を対象とした有料会員制サービス「フルスピードクラブ」を開始
2010年4月	アフィリエイト広告事業(「アフィリエイトB」)を分社化し、株式会社フォーイットを設立
2010年6月	フリービット株式会社(当社の筆頭株主)との間で、資本業務提携契約を締結
2012年6月	広告運用統合プラットフォーム「AdMatrix(アドマトリックス)シリーズ」を開発
2012年7月	親会社フリービットが所在する同一ビル内に本社を移転(渋谷区)
2013年11月	普通株式1株を100株に株式分割、単元株制度を採用(1単元の株式数を100株)

株式数・株主数

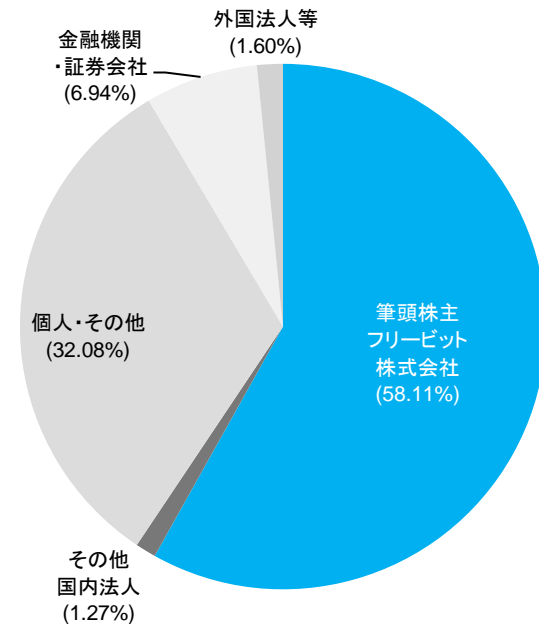
発行可能株式総数	20,000,000株
発行済み株式数	15,266,000株
株主数(議決権あり)	7,752名

上位株主(1位~10位)の状況

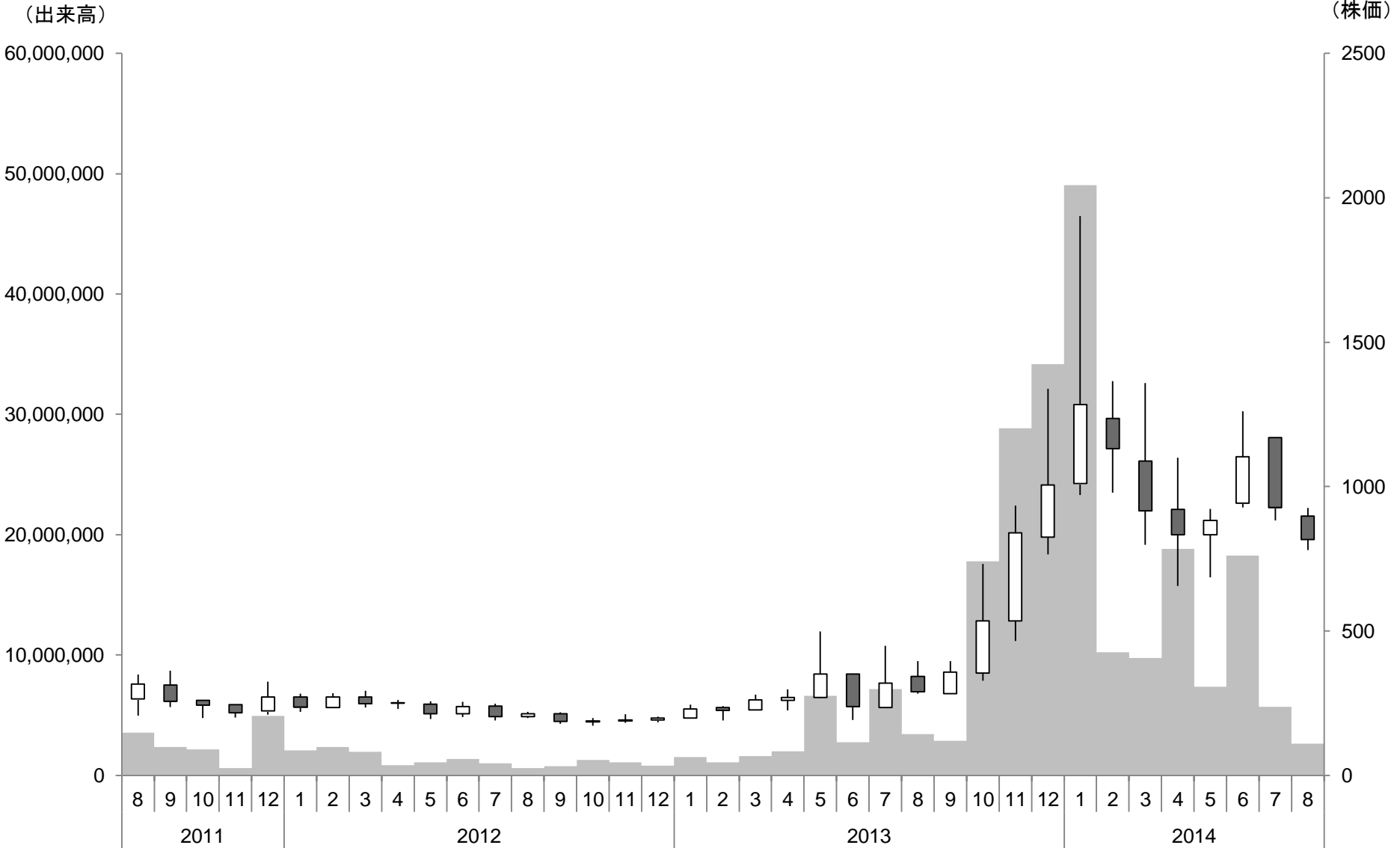
2014年4月30日現在

順位	株主氏名	所有株数	
1	フリービット株式会社	8,870,400	58.11%
2	日本証券金融株式会社	232,700	1.52%
3	一般個人株主	194,000	1.27%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	184,300	1.20%
5	株式会社SBI証券	147,800	0.96%
6	マネックス証券株式会社	142,400	0.93%
7	松井証券株式会社	101,700	0.66%
8	ゴールドマンサックスインターナショナル	69,800	0.45%
9	一般個人株主	65,000	0.42%
10	大和証券株式会社	61,200	0.40%

所有者別株主構成



株価推移





中期経営計画サマリー

Mid-Term Strategy Summary

フルスピードグループの企業理念

フルスピードの企業理念

インターネットマーケティング業界において、優れたサービスの開発と高い顧客満足を提供する会社になることで、顧客、社員、株主、そして社会に貢献すること。

差別化戦略

独自のアドテク(アド・テクノロジー)による差別化を基本戦略とする

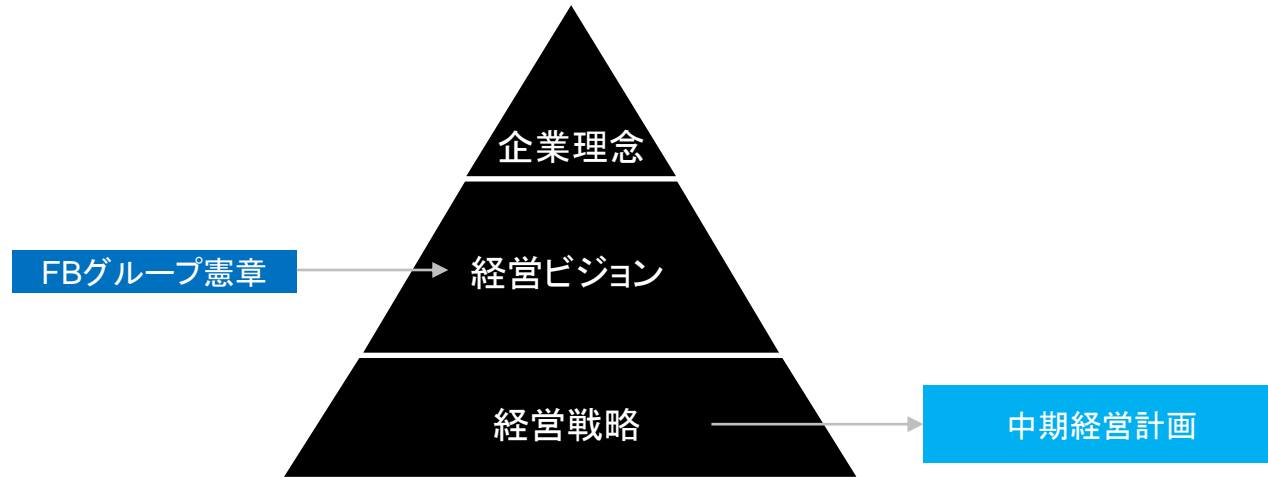
顧客至上主義

徹底した顧客満足度向上を追及し、高付加価値サービスを提供する

社会との調和

社会に対する貢献度が高く、高い志をもって取り組める事業を行う

フルスピードの理念体系

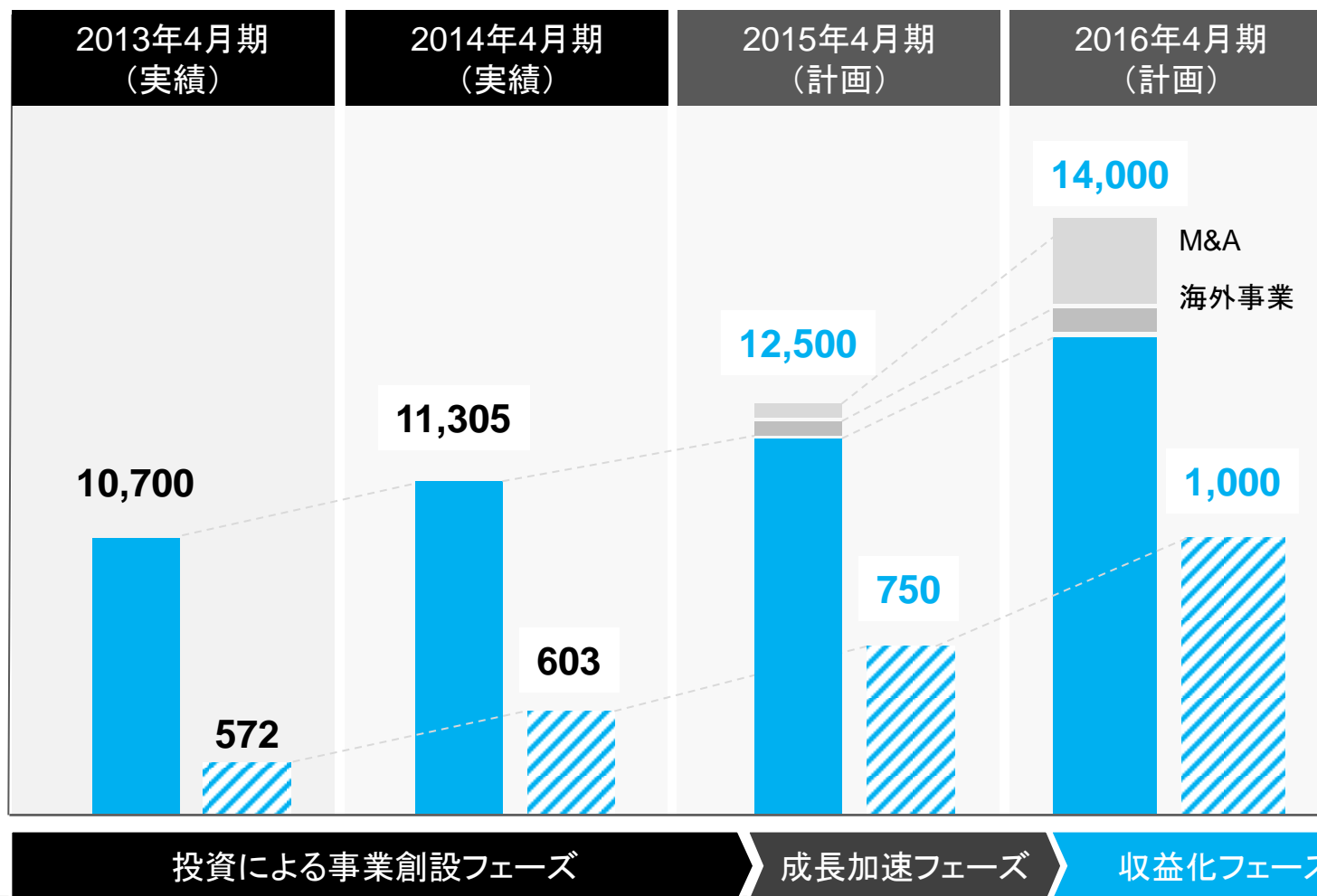


3つの理念体系

フルスピードグループの理念体系は、フルスピードが掲げる「企業理念」、フリービットグループの「FBグループ憲章」に基づく「経営ビジョン」、そしてその双方を実現していくための中期経営計画を含む「経営戦略」の三つのレイヤーによって構成されています。

フルスピード三ヶ年計画

■ 連結・売上高(百万円)
 ▨ 連結・営業利益(百万円)

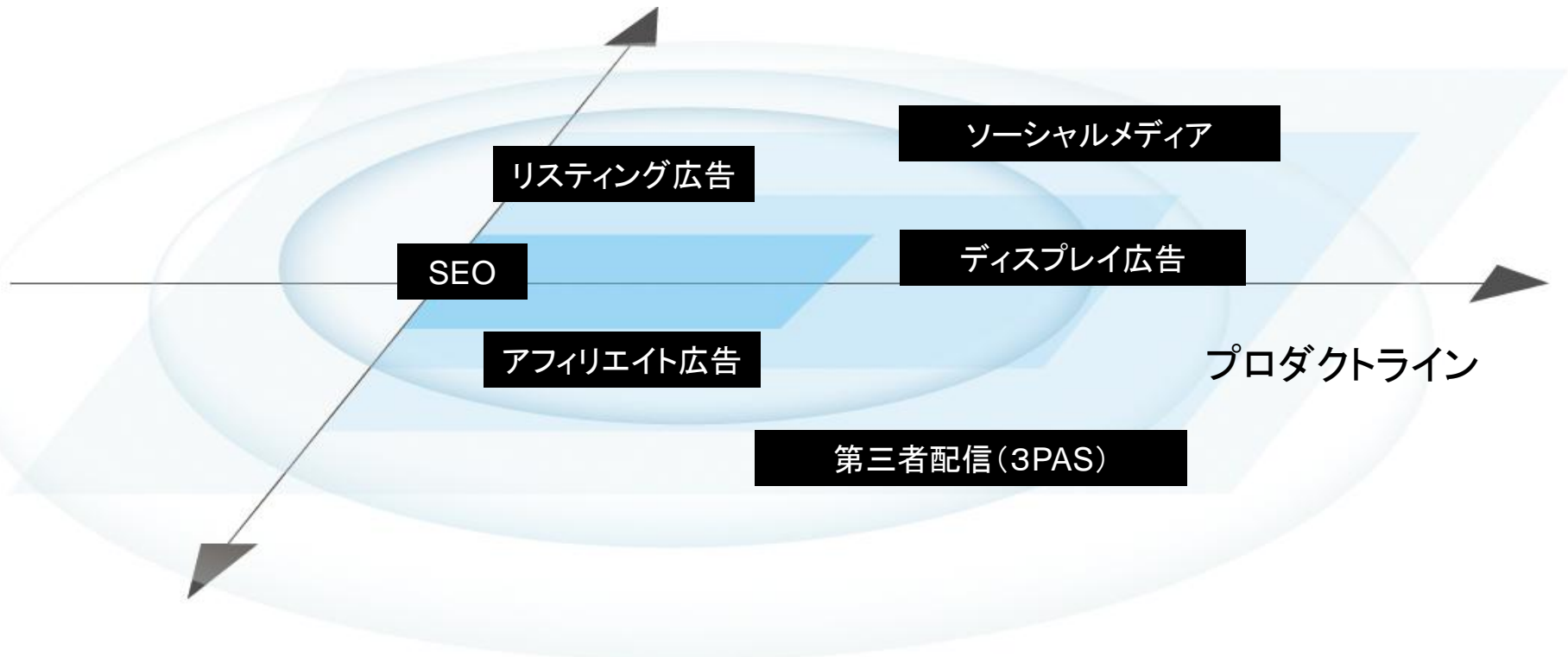


フルスピードのプロダクト戦略

プロダクトとしては、既存のコア事業に加え、「ディスプレイ広告」「ソーシャル・メディア」「第三者配信(3PAS)」の領域を深耕する方針。

水平レイヤーへの展開

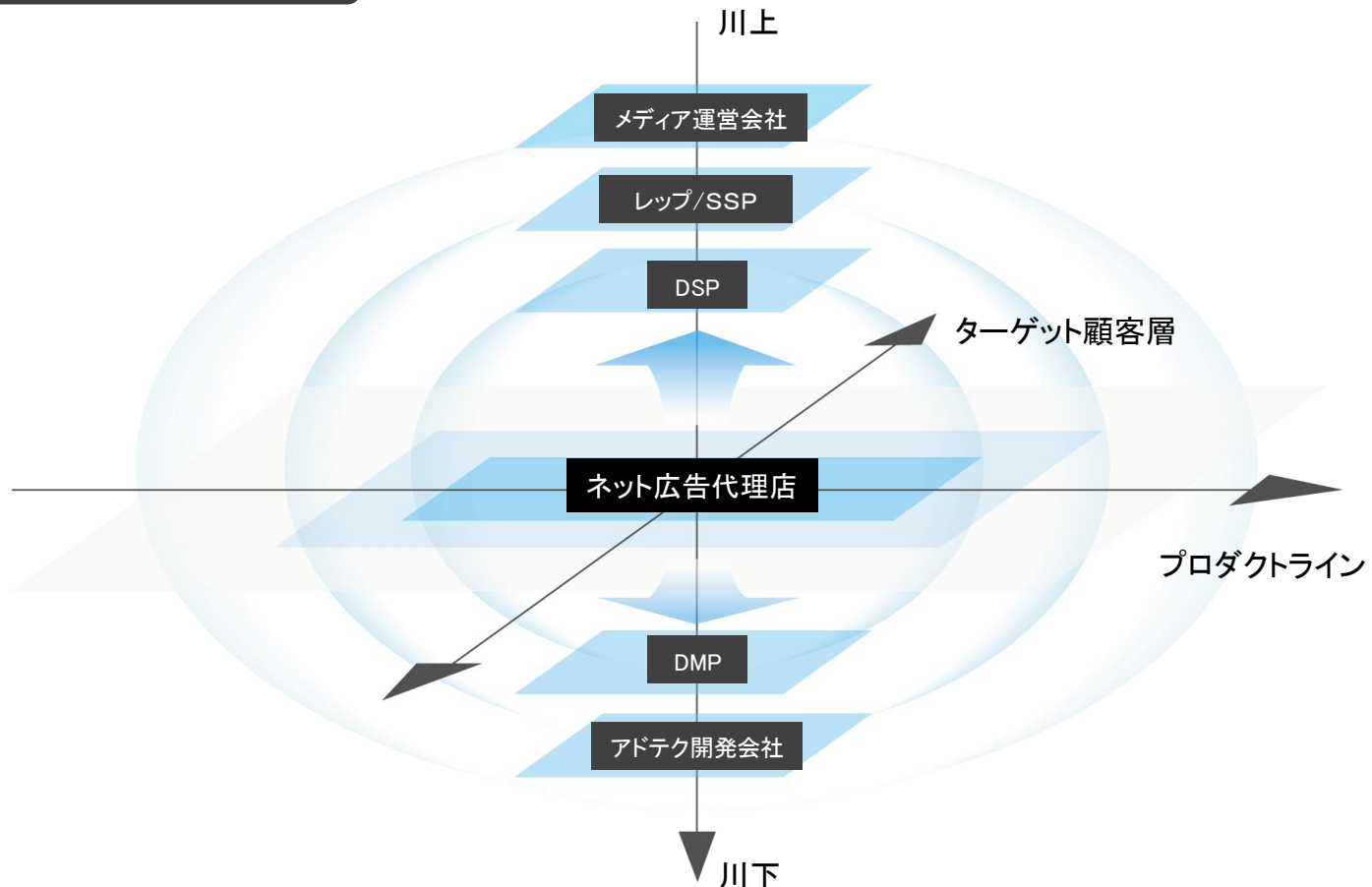
ターゲット顧客層



フルスピードのバーティカル戦略

ネット広告代理店を主たるドメインとし、川上（メディアサービス）や川下（テクノロジー開発）への領域拡大を図り、ここ数年で、垂直レイヤーへの展開を開始する。

垂直レイヤーへの展開



人材マネジメントにおけるコンセプト

尖り人材を増やす。

ただのスペシャリストは要らない。

伸びていくヒトに惜しみなく機会を与える。

採用コンセプト の考え方

単一のスキルセットに偏る人材は要らない。

少なくとも2つ以上の専門性の高いスキルセットを既に持っている人材を採用、あるいは将来持てるポテンシャル人材を採り、育成する。

“ ヒトの心理 ” と

“ 広告技術 ” を繋ぐ。

Full Speed Inc.